

会 議 録

1 会議名

平成27年度 第5回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

平成27年度地域活動支援事業（追加再募集）の審査について
（提案事業プレゼンテーション）

(2) その他（公開）

3 開催日時

平成27年7月31日（金）午後6時から午後6時50分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

・委員：井部辰男（会長）、高橋勇（副会長）、磯貝雄一、井部洵子、今井一郎、
上村閨一、笠原昇治、春日賢正、佐野喜治、関川正平、西條春一、
橋本博太、水澤伊一、横山一雄
（委員18人中14人出席）

・事務局：頸城区総合事務所 布施所長、関次長、石川市民生活・福祉グループ長、
総務・地域振興グループ藤澤班長、村山主任、柳主事
（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容

【関次長】

・会議の開催を宣言

【井部会長】

・挨拶

【関次長】

- ・小田委員、高木委員、芳賀委員、樋口委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：高橋委員、西條委員に依頼

【井部会長】

協議事項「平成27年度地域活動支援事業（追加再募集）の審査について」の追加再募集状況を報告し、プレゼンテーションの実施方法について事務局に説明を求める。

【藤澤班長】

資料No.1により、提案団体によるプレゼンテーションを7分、質疑応答5分とする。

提案事業ごとに委員が利害関係者である等の理由で審査を辞退する場合は申し出る。プレゼンテーションは基本的に提出書類を基に実施する。

【井部会長】

- ・事務局の説明について質疑を求めるがなし。
- ・No.1「地域防災力向上事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める。（高橋委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（頸城区防災士会）

昨年度は地域活動支援事業でジャンパーとヘルメットを購入させていただいた。また、上越消防等から講演をしていただいたり、頸城区全域の防災訓練においては、防災士として町内会で講習を行ったりした。

今年はトランシーバーを7台購入させていただきたい。災害時には携帯電話中継局の破損等が考えられるため、一つの乾電池で約70時間使用できる優れたトランシーバーを選んだ。見通しのよいところでは通信範囲が1～2キロくらいであり、中継局を置けば通信範囲が倍になるということも聞いている。今後中継局を設置していけば、頸城区全域をカバーできるのではないかと考えている。トランシーバーは、情報を発信すると一度に多数で情報共有できるので、今回このように提案させていただいた。

頸城区防災士会は設立して間もないため活躍する場が少ないが、地域の防災力向上、会員の防災意識、区民の防災意識の高揚を図るために活動している。現段階で日程は未定だが、11月に講師を呼んで講演会の開催を予定している。11月5日は津波防

災の日として定められているので、東日本大震災のことを思い出しながら防災意識を高めていきたい。

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【西條委員】

防災士とはどのような資格か。資格はどのようにして取得するのか。

【提案団体】（頸城区防災士会）

防災士の資格を取得するための講習受講費用が約6万円かかるが、以前は市からの助成制度があり、全額助成で毎年3～5名ずつ、消防や地域の方から資格を取得していただいた。平成24年にその制度が終了し、現在は市の助成制度はない。各町内会に防災士が1名ずついるのが最善だという中で、防災士が不足しているので、市でも助成制度等で防災士のいない町内会は一人でも資格を取得してもらえるようにしていきたいという話を聞いている。

頸城区防災士会の防災士の人数は、平成24年から増加していない。助成を受けて防災士の資格を取得した方でも防災士会に入るのは遠慮したいという方もいるし、自分で費用を出して資格取得し、防災士会に入って活動している方もいる。

資格取得には5日間くらいの講習に参加する必要がある。最終的に試験があり、落ちた場合は再講習・再試験を受けることになる。数年前にユートピアくびき希望館で開催された講習会には、100名近くの方が参加した。災害時の対応やAEDの使用方法など、実践的な講習を受けて資格を取得させていただいた。

【関川委員】

トランシーバー7台の運用をどのように考えているか。

【提案団体】（頸城区防災士会）

会長、副会長、事務局、3地区（明治、南川、大養）の幹事の計7名で運用する予定にしている。

【笠原委員】

防災士の知識や技能を活かす意味も込めて、頸城区内において頸城区防災士会主催で講習会をやっていただきたい。

【井部会長】

時間になったので審査を終了する。

引き続き、基本審査・採択方針の審査後に採点し、その後、採択するスケジュールで進めることについて委員全員の承認を得る。本日欠席の委員については、事前に事務局から、本日中に採択に至るスケジュールになった場合の採点への参加について説明し、了承を得ている旨の説明をする。

提案事業は基本審査及び頸城区採択方針に適合することで委員全員の承認を得る。
委員に採点票の記入を求め、一時休憩とする。

～ 休憩 ～

【井部会長】

会議を再開し、採点結果について事務局に説明を求める。

【藤澤班長】

資料No.2により説明

【井部会長】

事務局の説明について質疑を求めるがなかったので、原案のとおり承認することで委員全員の了承を得る。

予算残額の取り扱いについて事務局に説明を求める。

【藤澤班長】

頸城区の予算配分710万円のうち709万9千円が採択された。残額は千円で最低限の補助単位数額であるため、予算残とすることで諮りたい。

【井部会長】

事務局の説明について質疑を求めるがなかったので、原案のとおり承認することで委員全員の了承を得る。

その他について事務局に求める。

【関次長】

- ・次回の協議会：8月下旬

【井部会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-530-2311 (内線 212)

E-mail : kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。